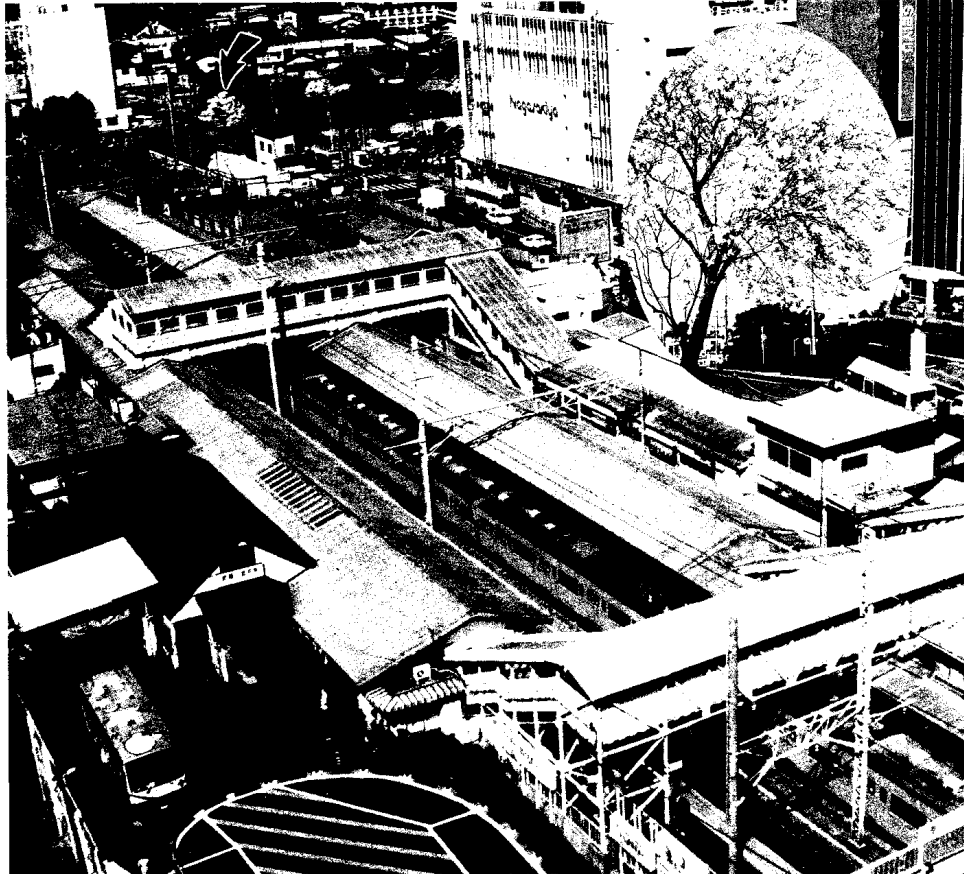


こがねい 市議会だより

第161号
3月定例会

平成8年(1996年)
4月27日発行

発行/小金井市議会 編集/議会報編集委員会
〒184 小金井市本町六丁目6番3号 TEL (0423) 83-1130(直通) FAX (0423) 87-1225



JR中央線高架事業の仮線内にあり、切られる予定だった白木蓮(左上矢印の木)が市民からの要望と地主の厚意で残ることになりました。(右上円内の白木蓮は拡大写真です)

309億6450万円の予算可決

プール溢水問題で論議

市長が197人の削減堅持の施政方針を表明

3月定例会日誌

- 2月28日・29日 — 本会議 (2頁)
- 3月1・4日 — 本会議 (2頁)
- 5・6・7日 — 一般質問 (2~4頁)
- 7日 — 本会議 (2頁)
- 8日 — 厚生文教委員会 (5頁)
- 11日 — 建設委員会 (5頁)
- 12日 — 総務委員会 (5頁)
- 13・14・15・16日 — 予算特別委員会 (5頁)
- 18日 — ごみ問題対策特別委員会(5頁)
行財政問題調査特別委員会(5頁)
- 19日 — 厚生文教委員会 (5頁)
建設委員会 (5頁)
総務委員会 (5頁)
- 21日 — 予算特別委員会 (5頁)
厚生文教委員会 (5頁)
- 22日 — 議会運営委員会 (5頁)
本会議 (6頁)

この議会報は再生紙を利用しています。
ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。

(平成8年第1回定例会市議会(清水健議長)は、2月28日に開会し、3月22日に予定どおり閉会しました。今定例会では、市長から当初、平成8年度東京都小金井市一般会計予算など議案23件が送付されました。その後、小金井市土地開発公社の経営状況についての議案1件が追加送付され、合計24件すべて原案どおり可決又は承認しました。(7頁参照))

また、開会初日の2月28日には、閉会中の委員会審査の終了した陳情1件の審査報告、採決が行われ採択となりました。

なお、議案審査に先立ち、市長から平成8年度の施政方針が表明され、これに対して各議員が市政を取り巻く国内外の情勢、財政問題、ごみ問題などについてたずねました。(2頁参照)

3月13日、14日、15日、16日、21日の予算特別委員会では、一般会計補正予算(第5回)で教育委員会における第二中学校のプール溢水問題について、一般会計予算では、職員の給与改訂も組めない厳しい財政状況についてをたずねました。(5頁参照)

3月18日の行財政問題調査特別委員会での調査や請願等の審議のなかで、近郊都市では例をみない退職手当債を組まざるを得ない状況について、論議が白熱しました。(5頁参照)

3月22日には、議員から市議会議員定数を26人から25人に削減する、「小金井市議会議員定数条例の一部を改正する条例」が提出され審議を行いました。その後、議会運営委員会へ付託し継続審査としました。その後、委員会付託審査案件の審査報告、討論、採決を行いました。さらに、議員から意見書4件、決議1件が提出され、意見書2件を否決したほかは、すべてを可決して閉会しました。

本 会 議

2月28日、29日、3月1日、4日、7日



大久保市長の施政方針演説

施政方針を表明

▼28日の本会議は、議案審議に先立ち、市長から平成8年度の施政方針が表明されました。主な内容は、次のとおりです。第二次基本構想に掲げている「市民優先の原則」、「公共計画先導の原則」、「市民自治確立の原則」をまっぴりりの基本姿勢として、諸施策を推進していく。しかし、優先課題が山積している現状を解決していくためには、まず財源確保が不可欠であり、そのためには人件費の削減、組織の適正化、給与制度の抜本的改革など、あらゆる角度からの見直し等総合的に行政改革を行っていく。現下の硬直化した財政構造の建て直しを使命と受け止め、不退転の決意で健全な市政運営に、最大の努力を傾けていきたい。

▼施政方針に
対する質疑
中央線高架化事業、市街地整備などの負担金は高額である。財政上問題はなにか。
財政負担を上げる。国や都の支援事業があるので、一定の負担はご理解願いたい。
職員削減を前面に打ち出しているが、削減のことはかりで施策が見えてこない。財政運営のまっぴりりさは財政力を超えた施策にあるのではないか。
限られた財源の中から、市民サービスを下げて努力をしていく。行政の再建に向けた行政の取り組みに時

問がかりすぎるのではないかと。次世代へ、「ソク」を回すことは許されない努力をしてほしいがどうか。
市民へ負担をお願いする前に、まず身内から整理を行い、努力していきたい。
沖繩での問題、国民生活に被害を及ぼす事件、平和に対する事業費の削減など、市長として財政再建ばかりで余裕がないという方が、市民へ平和の尊さを伝えていくべきではないか。
国、都、市とやるべき区分はおのずとまっぴりり、市ができることについて努力をしなければ、財源確保ができません。財源確保の健全化を図りたい。
▼29日から3月4日までの本会議では、平成7年度小会計補正予算案(第5回)など議案23件が上程され、説明、質疑の後、総務、厚生文教、建設、予算特別の各委員会に付託されました。

一般質問 (5・6・7日)

ここが聞きたい
ただだしたい

テレクラ規制条例の制定を

武井議員 市内主要道路の電柱にテレクラの宣伝看板が林立しているなど、昨今の風俗産業の宣伝には目にもまらぬものがある。(ア)市として具体的調査により、どの程度実態を把握しているのか。(イ)PTAなどの各団体より規制等の申し入れは。(ウ)茨城県は3月議会に、規制条例案を提議から強い要望が出されて

出し、今年7月より実施する。都にも制定を働きかけるとともに、市独自で規制条例を制定すべきではないか。生活環境部長 (ウ)無許可看板等の日常巡回や調査はしている。
福祉部長 (イ)青少年健全育成地区委員会、中学校PTA等の申し入れは、会議から強い要望が出されて

財政再建には市当局関係者の率先垂範を



篠原議員 子供達に小金井市を引き継いでいくに堪ず、政危機に議会も委員会視察の日程を減らし経費節減に協力が私達の願いです。厳しい財



財政再建には市内部からの協力も必要(高齢福祉課窓口にて)

介護保険制度について



大島議員 日本共産党は介護問題について①在宅介護と施設介護の両面を抜本的に充実する②現在の措置制度を存続させる③保険料は定率制とし、企業からも負担を④介護は交通事故等による若年障害者にも適用を⑤消費税とリンクしない。などの提言をして国民的討論をよびかけ



介護制度には問題点が多く残されている(緑寿園)

市長 市長も厚生大臣に充てん論議をよびかけ、性急な法案を提出するよう要請。より良い結論がでるよう制度になるよう期待したい。
小金井市議会は、米兵の

都市計画の市町村マスタープランづくりに市民参加を



五十嵐議員 平成4年に都市計画法が改正され、整備開発又は保全の方針等をベースにして、都市計画マスタープランを市民参加で作

少女暴行事件に抗議し、日米地位協定の見直しを求める意見書と「沖繩大田知事の米軍基地強制使用の代理署名拒否を支持し、世界平和と軍備削減、基地撤去に向け努力することを求める意見書」を議決し、関係機関に送付している。沖繩の基地問題の見解を聞きたい。

市長 大田知事の行動については、自治体の長としての敬意を表する。沖繩県から基地がなくなるよう総理大臣以下の懸命な努力を願う。
その他、防災計画の見直しについて質問しました。

都市整備部長 平成10年度から取りかかろうか。原案作成の段階から市民参加を得ながら、具体的に地域別のあるべき市街地像を考へていく。
生活環境部長 (ウ)10トン車両方をストックしなければならぬ。場所の確保の点から、この法律に沿うのは現状では非常に難しい。(イ)地元との協議が難航し、来年の施行には間に合わないような状況である。(ウ)今後の課題として

市政全般について、議員が自由にだだせる一般質問の制度があります。今定例会では、3日間にとり、15人の議員による一般質問が行われました。質問内容の多かつたものは、青少年健全育成の環境問題や介護保険についてなどでした。以下はその要旨です。また、今回から議員の顔写真が順番に掲載されることとなりました。(原稿は各議員が作成)

区画整理の財源はあるか

井上議員 (7)12月に発表された財政フレームと予算と違う理由は何か。(4)市有地の売却や使用料・手数料を値上げする内容を明らかにしてほしい。(5)武蔵小金井駅南口の再開発事業費を計画からはずした理由は。(6)退職金が払えず退職手当償を14億円発行する計画の見直しは。(8)赤字債を発行か。

公立保育園の増設を

板倉議員 ①市の責任において、保育に欠ける児童を措置しなければならぬが、(7)平成8年度の保育措置の募集枠と応募状況及び入所待機児童数は。(8)無認可園や保育園にも預けられない児童が保育園に入るように、どう保障し対象児童数に対する措置率が低い状況打開するためにも、公立保育園の建設を早期に具体化することが必要か。



公立保育園の増設を

企画財政部長 (7)事業を圧縮した。(8)25億円土地を売却し、下水道・自転車・少年自然の家使用料金を値上げする。(9)昭徳門を予定していたが調整中。(10)条件的には厳しいが退職手当償に頼らざるを得ない。(11)建設事業にブレイクはかからない。

市長 (12)都に委託している変わつたので買取る。(13)何かが優先課題と考えている。(14)様々な角度から十分検討し対策をたてていきたい。

福祉部長 (15)応募者人に対して、措置費人待機者は20人。(16)現在の民間保育園等もご協力をお願いする中で、現在の保育施設・保育体制等のように対応できるのかに検討していきたい。現在、特にこれといった具体策はない。

市長 (17)現在の財政状況では、新たな保育園をつくることは全く困難。

②小金井市議会は昨年12月の定例会で、住宅金融専門会社の不良債権処理のための公

青少年の健全育成環境の確保について

林議員 ①電柱や支柱ごと、レクリエーションのポストがかなり張り出している。2種類ある。ポストだけでなく、ポルノチラシ、ピンクチラシが最近よく郵便受けに投げ込まれてきている。正視にできない写真が並んでおり、文言なども青少年の目にふれたいかかなものか。(2)これらのポストの撤去はどう行われているか。(3)見たくないチラシが郵便受けに投入され、子どもに目につくおそれが多分にある現状を人権侵害と見、公的の嫌がらせという人もいます。

市長 行政の長として、お答えする立場にございません。その他の市民課窓口改善を質問しました。



介護保険導入に向けた福祉介護支援サービスの整備を

和田(茂)議員 ①公的介護保険の導入は、体の自由を奪われたお年寄りに幸福な生活を送れるようにどうしたら良いかが問題である。そこで本市の保健福祉計画の、特に在宅3本柱の達成状況と今後の見直しを聞く。

福祉部長 まず平成8年度目標についてホームヘルパーは常勤6人の目標が現在5人、非常勤は10人が現状12人、シヨートステイ、デイサービス、特養ホームはそれぞれ達成できる。平成12年度目標の達成は財源と人材の確保という点で難しい。

②押印廃止に向けた取組み

の現状と見直しは、紙のA判化とコンピュータ化で紙の使用量は減少したか。

総務部長 約100種類の申請書の内46種類は押印を廃止した。今後、行政手続条例等と合わせ洗い直す。紙の量は、住民票など5万2000枚あるものがデータシステムに入れることで省力化している。

③理科離れ対策として文部省は、科学技術・理科教育推進モデル事業」を行う。本市はこれに「ノミネート」したか。

福祉部長 まず平成8年度目標についてホームヘルパーは常勤6人の目標が現在5人、非常勤は10人が現状12人、シヨートステイ、デイサービス、特養ホームはそれぞれ達成できる。平成12年度目標の達成は財源と人材の確保という点で難しい。

公的介護保険に問題は無いのか

野見山議員 ①公的介護保険はサービス選択の自由があるといっても、サービスが潤沢に提供されなければ、今の措置制度と変わらぬ。また消費税引き上げとリンクされる問題は問題である。(2)人材と財源確保の基本方針は。(3)要介護の認定で生じるトラブルをどう解決していくために福祉のオン・オフスマン制度を作らないか。(4)97年4月からの実施は無理と思うがどうか。

福祉部長 (5)人材確保について、専門職の養成を図り都に働きかける。働く人の身分保証、社会的な保証も検討課題と考える。国への財源については、事務事業量に見合った

料で配布することは考えられないか。

生活環境部長 (7)平成7年5月から8年2月まで、無届掲示物を59枚撤去した。

福祉部長 (8)警察署等にも相談したが、ステッカーを張りつても効果がどうなのかと、市がつくって希望者へ配布するのは難しいと思う。



青少年健全育成のために規制条例の制定を

②加古川市のようなテレックラ等の営業そのものを規制する条例をつくる考えはないか。

市長 市長会として部の方で罰則規定を設けてもらいたいと要望している。二重のこのとをやるより、広範囲で対応するのが現状でできる一番適切な方法であろうと思う。

地方分権の実現を求める決議

平成7年5月、地方分権推進法が成立し、同年7月には、地方分権推進委員会が発足した。同委員会は多様な行政課題について精力的な検討審議を行い、平成8年3月に中間報告を予定しているが、遅くとも本年中に具体的な指針を勧告されるよう要望し、政府には、勧告を受けた際に、速やかに自治権の拡充強化を内容とする実効性のある地方分権計画を作成し、その計画に基づく施策を実施するよう強く要望する。以上、決議する。

意見書

《採決結果》全員賛成(退席11人)

住宅金融専門会社の不良債権処理問題に関する意見書

政府は平成8年度予算において、さまざまな経理を行ってきた住宅金融専門会社の不良債権を処理する資金を投入しようとしている。国民の税金を投入することは、世論調査の結果をみては国民の理解が十分に得られていない。すべてを通じて行政指導・監督の任にあつた政府・大蔵省などの行政責任は重大であり、明確にするよう要請する。

提出先 内閣総理・法務・大蔵・農林水産・自治大臣

賛成討論(要旨) 公明 和田(茂)議員 公明の呼びかけで結成された「住宅金融専門会社問題調査委員会」は全国規模で運動を展開し、東京都段階ですでに90万署名の署名簿を衆議院議長に提出した。住宅問題は戦後55年体制によって温存されてきた行政機関の官僚的体質が生み出した、と言っても過言ではない。母体行のみならず住専に關与した貸手、借手の経営責任と、住専の生みの親とも言うべき大蔵省、関与した政治家の責任はまぬがれない。金融市場でプレイヤーとレフリーの両方の役割を大蔵省は演じてしまった。政府の処理策はこのような責任をうやむやにするもので本意見書に賛成する。

た財源の再配分が基本と考え、(4)その前の要介護の認定基準作りを研究したい。(5)市長会を通じ、早急に結論を出さないよう国に要請した。

②正月の午前中に調布飛行場からの飛行機の騒音があるが、三箇日の午前中の飛行自衛を東京部に申し入れないか。

企画財政部長 1日は固定資産税の関係の航空写真撮影である。騒音の問題が初めて言われたので、今後、契約の際の留意事項にしたいと思う。民間の飛行機は午前10時以降を守っていると思う。

③就学援助の申請用紙は、ブライバシー保護と減免範囲がわかりやすいように書式を改善してほしい。

学校教育部長 検討する。

北京行動綱領を受け、小金井市でできることは

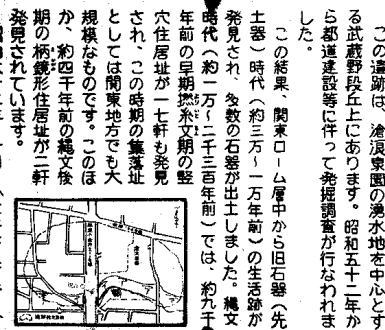


若竹議員 行動綱領実行の責務は各国政府が負う。(7)人権教育の観点から男女混合名簿実施について問う。(8)ピンクチラシ撃退ステッカー(新

情操豊かな文化環境を



小尾議員 貫井トンネル建設計画に発端された「はけうえ遺跡」が実物大模様のレブリカとして国際基督教大学に残っている。今から約4000年前の縄文時代後期の柄鏡型住居



貫井トンネル上にあるはけうえ遺跡看板

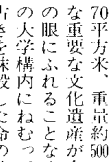
この遺跡は、滄浪東園の湧水地を中心とする武蔵野段丘上にあります。昭和五十二年から都道建設等に併せて発掘調査が行なわれました。

この結果、関東ローム層から旧石器(先土器)時代(約三万一万年前)の生活跡が発見され、多数の石器が出土しました。縄文時代(約一万二千年前)では、約九千年前の早期弥生文化の竪穴住居跡が一七軒も発見され、この時期の集落址としては関東地方でも大規模なものです。このほか、約四千年前の縄文後期の柄鏡型住居跡が二軒発見されています。

昭和六十二年一月 小金井市教育委員会

宿区では一枚15円)や撤去作業の腕章を作れ。(9)テレクラ規制条例研究を。女性セロの審議会等をなくし同一人物の兼任を減らせ。(10)母子手帳申請の「妊娠届出書」で過去の妊娠経歴記入欄はプライバシー侵害では、改正を都へ要望しないか。(11)女性管理職職員養成をすすめるよ。(12)行動綱領の理解を深めるためのPRや、特に若い世代が参加できる講座等を実施を。(13)校長会、学校教育部長(14)校長会、教頭会等の中で伝える。

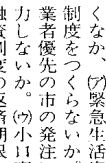
東町商店街の営業とくらしを守るために



森戸議員 ①国際興業ゴルフ場跡地への大丸ビコーックの出店について、地元商店街には多大な影響がでるとの懸念がある。②今後出店までの手続はどうか。③今後出店までの手続はどうか。④出店に賛同する事業者を尊重して、消費者アンケートや中小企業振興条例など、商工振興対策を抜本的にすすめるか。⑤市民部長(16)出店者の届け出終了後、大規模小売店舗審議会が審査の中で、地元の見地取りが行われる。その間に商店街協議会と出店者との間で協議が行われる。出店

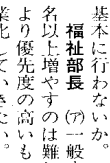
跡を斯界一人者である考古造形研究所の森山氏が石骨で型取りし、強化プラスチックで作った考古学レブリカとしては先駆的事例。ほぼ円形で長径9米、短径8米、面積約70平方メートル、重量約500kg。こんな重要な文化遺産が全く市民の目にふれることなく二鷹市の大学構内にむきだされている。古きを採集した命の状態からは、断絶を相互不信と人間疎外しか生まれない。オウム真理教の児童犯罪は、一切を物質的・経済的視点からのみ割り切り、精神的・人間的要素を切り落とした思考法が若い

深刻な不況のもと市民のくらしを守る施策を



長谷川議員 ①不況が長びくなか、緊急生活資金融資制度をつくらないか。(2)地元業者優先の市の発注に一層努力しないか。(3)小口事業資金融資制度の返済期限を東京都並みに短縮資金7年、設備資金9年に延ばせないか。②福祉部長(17)新たな制度の創設は難しい状況にある。③総務部長(18)市内業者の育成という点で努力している。④市民部長(19)十分、検討していく余地があると思う。⑤保健福祉計画の見直しに当たって、市民公募をもつて増やす等市民参加をすすめるか。(6)緊急性、切実性を基本に行わないか。

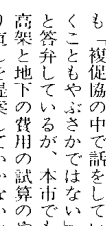
中央線立体化線増工事について



渡辺(大)議員 ①高架より地下(シールド工法)の方が騒音・振動・日照・景観・地下水などの面で問題が少なく、防災空間の確保、区画整理の進展によるものか。(2)99億円の市の負担に対し、都は振興交付金14億円や区画整理の側道や、減歩緩和用地の確保、武蔵小金井駅南口の再開発に際し交通広場の全額負担等、支援策の総額は軽く、(3)市内業者がこの工事で仕事を獲得するよう市長や担当部長は働きかけてほしい。④都市整備部長(15)鈴木本部長が沿線6市の市長の陳情に同道し、建設省や大蔵

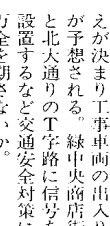
理の減歩率の緩和などの面で利点が多い。撤去は70年代初頭に高架を敷いた地下化している。また大震災後、高架の新耐震基準が検討され、費用増が見込まれる。三鷹市長も「複促進の中で話をしたい」と答弁しているが、本市でも高架と地下の費用の試算のやり直しを提案しているか。⑤都市整備部長(16)高架か地下かを議論する時ではない。⑥三鷹市では、行政改革と基本計画を表裏一体のものとして検討している。本市でも、市民会議をつくらないか。⑦企画財政部長(14)市内の体制を整えてからでないか、直接市民の中で出ていって意見を聞き出すことにはならないか。⑧公団小金井閉地の建て替えが決まり工事車両の出入りが予想される。線中央商店街と北大通りのT字路に信号を設置するなど交通安全対策に万全を期さないか。⑨建設部長(13)専門の整理員をつけるなど安全対策を図る。

首都機能の移転問題に関する意見書



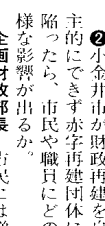
政府は、国会等移転調査会の最終報告を受けて、首都機能移転の実施に関する法案審議に入ると伝えられている。国、都の経済などに与える影響を十分調査し、広く国民に知らせるとともに、論議を十分尽くすことが大前提である。よって、首都移転を前提とした移転先の選定を始め、新都建設の具体化のための関係法案の提出を行わないよう強く要望する。

否決された意見書



▼住専への税金投入をやめ、真相の徹底解明を求める意見書
(起立採決結果)
賛成 日本共産党、大衆党、行革連、環境クラブ
反対 公明、明政会、自民党、社民党、市民権、生活者ネットワーク

公正・民主の公的介護保険制度の実施を求める意見書



(起立採決結果)
賛成 日本共産党、新政策フォーラム(2)、大衆党、環境クラブ
反対 公明(2)、明政会、自民党、社民党(1)、市民権、生活者ネットワーク
退席 公明(2)、新政策フォーラム(1)、社民党(1)、行革連

▼JR中央線の高架事業について
稲葉議員 ①(四半世紀にわたる多摩郡民悲願のJR中央線の連続立体交差化の事業採択は東小金井駅北口の区画整理の進展によるものか。(2)99億円の市の負担に対し、都は振興交付金14億円や区画整理の側道や、減歩緩和用地の確保、武蔵小金井駅南口の再開発に際し交通広場の全額負担等、支援策の総額は軽く、(3)市内業者がこの工事で仕事を獲得するよう市長や担当部長は働きかけてほしい。④都市整備部長(15)鈴木本部長が沿線6市の市長の陳情に同道し、建設省や大蔵

議員研修会

平成8年2月15日(土)に府中の森芸術劇場どりーむホールにおいて、第34回東京都議会議員研修会が開催されました。

第1部は正副議長、議員、事務局長、事務局職員の永年勤続表彰が行われました。

第2部では、作家である童門冬二氏による講演「歴史に学ぶ行政改革」が行われました。

委員会の動き

議案・請願・陳情の審議
結果は7員、継続した案件は8員を参照してください。

厚文委

厚生文教委員会(小尾武人委員長)は、市税賦課徴収条例の一部改正等15件を審査し、議案5件を原案可決、陳情1件を趣旨採択、陳情2件を不採択とした。

市税賦課徴収条例を改正

採決にあたって、4億100万円の見込みがあり、どう解決するかが議論でも指摘されている。納期の改善等一定の努力が認められ、46万円の引き上げは、一般会計からの持ち出しも限度がありやむを得ない。

①国民健康保険の支払い方法
は、一時的な負担の重さを考慮すると早急に延べ払いの方法を検討し実施するよう努力をお願いしたい。

建設委

建設委員会(井上忠男委員長)は、議案1件、陳情2件を審査し、議案1件を可決、陳情1件を趣旨採択、1件を継続審査とした。

武蔵小金井北駐輪場が移転

有料自転車駐輪場条例の一部改正

①優先使用は考えていない。現在より定期使用台数を増やす。②設置は難しい。③立看板を設置し、市報でPRする。

総務委

総務委員会(大島龍男委員長)は、市役所第二庁舎駐車場の一部改正等9件を審査し、議案5件を可決、陳情1件を不採択とした(残り3件は継続審査)。

グリーン料金の支給廃止

旅費条例の一部改正

①都と同様に要綱により調整を行う。全日当り調整を行う。全日当り調整を行う。全日当り調整を行う。

予算委

(13・14・15・16・21日)

予算特別委員会(村野静司委員長)は、平成7年度小金井市一般会計補正予算(第5回)を含む補正予算5件、平成8年度小金井市一般会計予算を含む当初予算5件の計10件を審査し、起立多数ですべてを、原案可決した。



村野静司 委員長

平成7年度一般会計補正予算(第5回)

二中全会で、水不足が叫ばれているが、昨年度に注されたまま、放置されたまま、金額として10万円余を流したことがあったと聞くが事実か。またその後の経過として職員の処置や水道料金の支払いなどについて事実を行政問のなれあいのもとに解決したのではないかと答へた。

①水不足が叫ばれているが、昨年度に注されたまま、放置されたまま、金額として10万円余を流したことがあったと聞くが事実か。またその後の経過として職員の処置や水道料金の支払いなどについて事実を行政問のなれあいのもとに解決したのではないかと答へた。

溢水水道料金を訂正

①いつまでに整理できるかは、はっきりできない。具体的な方向づけは、平成8年度の保健福祉計画を見直すなどで検討していきたい。

②消防団員の推せんについて
消防団員の選出が難航している実情と、その理由をどう考えているか。プロ並の訓練は厳しすぎないか。時代の流れとともに、なり手が少なくなってきた。団員の意見交換を十分にし、市民の理解も得ながら改善していく。



消防団員の訓練風景

ごみ特委

(18日)

ごみ問題対策特別委員会(五十嵐京子委員長)は、陳情2件を審査し、2件とも継続審査と決

財政負担はどのくらいになるか明らかにせよ。
①概算だが約50億円と同処分場の実態調査と抜本的対策を講ずることを求める陳情書

最終処分場関連陳情2件を審査

①第一処分場建設に「の取下げを処分組合に働きかける陳情書」
②第二処分場建設に「どのくらいの費用がかかるのか。」

16億5千万円くらいと大雑把に考えている。これは一部事務組合を維持するうえで必要経費であることを理解されたい。

行財政特委

(18日)

行財政問題調査特別委員会(黒川輝秀委員長)は、計画撤回を求めて1万3000人から提出されたもの。今後の職員数を比較すれば職員数の多さがわかる。④人件費比率のアンバランスを是正すべきだ。⑤原因は市長の政策選択の誤りである等の意見・要望を述べた。

削減反対の請願再び不採択

この請願は市が財政再建のため行おうとしている削減の職員削減計画は、その対象が学校・学童保育所、

児童館・保育園など福祉・教育現場に集中しているとして、未来を担う子どもたちのため計画撤回を求めて1万3000人から提出されたもの。今後の職員数を比較すれば職員数の多さがわかる。④人件費比率のアンバランスを是正すべきだ。⑤原因は市長の政策選択の誤りである等の意見・要望を述べた。

議運委

(22日)

議会運営委員会(村野静司委員長)は、小金井市議会議員定数条例の一部を改正する条例を

から提案されたもので内容は、小金井市の財政状況と社会の諸情勢を勘案し、市議会議員定数26人を1人削減して、25人とするものです。この条例は、3月22日の本会議で当委員会に付託され、当市と事情を同じくする市の状況等の資料及び当市のように狭い行政区域という特殊事情等を

議員定数削減条例を継続

議員定数削減条例を継続

を考慮して審査すべきとして、継続審査とした。



提案説明した議員

本 会 議

(22日)

▼22日の本会議では、各委 員会の委員長報告が行われ た後、4人の議員から現在 26人の議員定数を25人に改 正しようとする小金井市議 会議員定数案の一部を改 定する条例が提出され、質 疑の後、議会運営委員会に 付託され継続審査となりま した。その後、意見書4件 決議1件が提出され、意見 書2件を否決したほかは、



討 論

今定例会では、議案、請願・陳情・意見書に 対し、延べ16議員が21件の討論を行いました。 そのうち15件の討論(要旨)を掲載します。 なお、討論後の審議結果は、7頁をご覧ください。

反 対 討 論

日本共産党 井上議員

次の理由から予算案に反対 する。①国の補助金削減で4 億6000万円がカットされ、また 市の超過負担は1億5000万円な る。②警察の警備費の増大で あり、警察官舎用地を市で買 取らなければならない。③消防 費の増大で、消防官舎用地を 市で買取る必要がある。④財政 危機を言うわりには、市は過 剰サービス。⑤に、リストラ ードで生じたお金の投入が福祉

平 成 8 年 度 東 京 都 小 金 井 市 一 般 会 計 予 算

野見山議員

第一に、1日100万円で行い、 戸建てを借り続け、戸建て建 設基金も積み立てず、有効利用 されないジャンボ跡地の借入金 返済に毎年6億円支出するこ とは、市政最大の矛盾。第二

反 対 討 論

日本共産党 長谷川議員

反対理由の第一は、一昨年 と合計すると3000万円均等割を 引き上げるといふことで大変 な増税であり、低所得者に大 きな影響を及ぼすことは明らか である。滞納者の状況を見ても、税額1万円未満から15 万円未満の人達の滞納者は全 滞納者の83.6%もある。負 担能力のある人も多く負担す るのが民主的な課税の仕方であ

反 対 討 論

日本共産党 板倉議員

厚生の文教委員会には 多くの請願・陳情が付 託されています。どれも切 実な願いであり、全て 財政に反映させたいが、 財源には限りがあり、 政策の優先順位もあり ます。市政に責任を持 てるべきは、子育て支援 策の充実です。しかし、 現下の財政状況で正規 職員が3名必要かは疑 問です。今回の市の提 案は2名の内1名を嘱 託化するというもので、 保育行政の低下になら ぬよう措置されており ます。

反 対 討 論

生活者ネット 五十嵐議員

財政の悪化は数字的にも次 第にはつきりとしてきて、職 員の退職金も全国的にもま る退職手当に頼らざるを得 ないことが明らかになってき ました。今回の財政再建計画で正 規職員の削減は、子ども こと等が子供を取り巻く環境 を悪くするというのは、過 剰な削減を求めていると考

反 対 討 論

環境クラブ 若竹議員

一方、小金井市の学 童保育料は多摩一 の高い金額。ならば、そ れに合わせた保育内容 を充実させるのは当然 によって本陳情に賛成す る。

平 成 7 年 度 東 京 都 小 金 井 市 一 般 会 計 補 正 予 算 (第 5 回)

日本共産党 大島議員

第二中学校のプールいっ 水 事件に対する市の不明な対 応について、第1に、職員に 仕事のミスを行政内部でかば いあい、事実を隠ぺいするとい う行政の体質問題が露呈し たこと、第2に、行政は本来 条例・規則・規定にしたがっ て運営されるべきであるのに、 事件を議会に報告せず闇から

賛 成 討 論

市民権 佐野議員

平成7年の第5回の小金井 市一般会計補正に対し、賛成 の立場から討論を行います。 昨年5月2日と3日につい て、第二中学校のプールの水 の排水、清掃、注水の過程で 約250㎡の水道水が使われ、19 万円の料金になったという事 故が発生しました。これは例

反 対 討 論

明政会 篠原議員

平成8年度住民基本台帳の 年齢別人口構成から当市の将 来を予測してみると大変な問 題点が浮き彫りになってくる。 現在当市の20歳以下の人口は 20歳から40歳人口のおおむね 30%減となっている。これは 20年後には20歳から40歳の担 税層が30%減となることであ

反 対 討 論

日本共産党 森戸議員

小金井市内の1万3000人の子 どもたちに、意見を表明する 場がないことは極めて残念で ある。福祉・教育現場の職員 を削減すべきではないと考え、 本請願に賛成する。 その第一の理由は、子ども の豊かな成長と子育て真最中 の親にとって、これらの職 かん人減らしを提案している

子 ども たち の 豊 かな 放 課 後 の 生 活 を 保 障 す る 学 童 保 育 施 策 の 拡 充 を 求 め る 陳 情 書

一方、小金井市の学 童保育料は多摩一 の高い金額。ならば、そ れに合わせた保育内容 を充実させるのは当然 によって本陳情に賛成す る。

賛 成 討 論

日本共産党 板倉議員

今後、学童保育所へ の需要増が予想される なか、越境入所を余儀 なくされる事態が生ま れてくると思われ、ま た、すでに建てられ てから二十年前後経過 している施設もあり、 耐震性の観点からも早 急な建て替えが必要。 市は、指導員の非常 勤化を掲げているが、 課長自らが「午前中は かなり忙しい」と述べ ざるをえないように、 非常勤化にされれば、 午前中にこなさなけれ ばならない実務が、職 員に重くのしかかって くる。

議案・請願・陳情の審議結果

| 議案・請願・陳情名 | | | 各会派の態度 ○賛成 ×反対 △退席 会派名下の()は所属議員数 | | | | | | | | | | | 議決結果 | | |
|---|----|--|--------------------------------------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|-----------|--------|--------|----------|------|-----------|-----------|
| | | | 日本共産党(5) | 公明党(4) | 民主党(3) | 新政策フォーラム(3) | 社民党(2) | 自民党(2) | 大衆党(1) | 生活者ネット(1) | 市民権(1) | 行革進(1) | 環境クラブ(1) | | | |
| 平成7年度東京都小金井市一般会計補正予算(第5回) | 予 | 歳入歳出予算の総額に、それぞれ7億101万9,000円を追加し、予算総額317億607万2,000円とするもの。 | × | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ☆ 原案可決 | |
| 平成7年度東京都小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第5回) | 予 | 歳入歳出予算の総額に、それぞれ586万6,000円を追加し、予算総額の48億5,585万6,000円とするもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成7年度東京都小金井市下水道事業特別会計補正予算(第2回) | 予 | 歳入歳出予算の総額から、それぞれ3,811万3,000円を減額し、予算総額21億2,460万4,000円とするもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成7年度東京都小金井市受託水道事業特別会計補正予算(第4回) | 予 | 歳入歳出予算の総額から、それぞれ8,773万1,000円を減額し、予算総額19億9,082万7,000円とするもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成7年度東京都小金井市老人保健医療特別会計補正予算(第3回) | 予 | 歳入歳出予算の総額から、それぞれ1,052万4,000円を減額し、予算総額58億1,078万3,000円とするもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成8年度東京都小金井市一般会計予算 | 予 | 歳入歳出予算総額309億6,450万円とするもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ☆ 原案可決 |
| 平成8年度東京都小金井市国民健康保険特別会計予算 | 予 | 歳入歳出予算総額51億1万6,000円とするもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 原案可決 |
| 平成8年度東京都小金井市下水道事業特別会計予算 | 予 | 歳入歳出予算総額21億3,541万6,000円とするもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 原案可決 |
| 平成8年度東京都小金井市受託水道事業特別会計予算 | 予 | 歳入歳出予算総額21億2,613万3,000円とするもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 平成8年度東京都小金井市老人保健医療特別会計予算 | 予 | 歳入歳出予算総額61億6,595万5,000円とするもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 小金井市役所第二庁舎駐車場条例の一部改正について | 総 | 市役所本庁舎駐車場の供用方法を定めるもの。 | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 小金井市老人の看護料資金貸付基金条例の一部改正について | 厚 | 老人の看護料資金貸付基金の額を改定するもの。 | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 小金井市市税賦課徴収条例の一部改正について | 厚 | 国民健康保険税の課税限度額と被保険者均等割額を改定するもの。 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ☆ 原案可決 |
| 小金井市有料自転車駐車場条例の一部改正について | 建 | (仮称)武蔵小金井北第3駐車場を新設するもの。 | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 小金井市子どもたちの豊かな福祉・教育環境を守り、発展させるため、学校・学童保育所・児童館・保育園の市職員の削減を行わないことを求める請願書 | 行財 | 教育のレベルダウンを防ぎ、子どもたちの健康や安全などを確保するために市職員の削減を行わないよう求めるもの。 | ○ | × | × | × | △ | × | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ☆ 不採択 |
| 子どもたちの豊かな放課後の生活を保障する学童保育施策の拡充を求める陳情書 | 厚 | 学童保育への入所希望者を全員入所させ、施設の改善や保育内容の充実を求めるもの。 | ○ | × | × | × | △ | × | ○ | △ | △ | × | ○ | ○ | ○ | ☆ 不採択 |
| 地域経済活性化と市民の生活向上に関する陳情書 | 総 | 地域経済安定・振興条例を制定し、市民生活の向上を求めるもの。 | ○ | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | 不採択 |
| 国民健康保険税の増税反対の陳情書 | 厚 | 国民健康保険税の引上げをやめるよう求めるもの。 | ○ | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | 不採択 |
| 小金井市議会議員及び小金井市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について | 総 | 公職選挙法施行令及び関係法令の改正に伴い、市選挙法令の改正を行うもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員の旅費に関する条例の一部改正について | 総 | 特別車両料金等について利用方法の整備を図るもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成8年度分の固定資産税及び都市計画税の納期の特例に関する条例の制定について | 総 | 地価の下落に対応した固定資産税等の緊急措置のため平成8年度分の納期の特例を定めるもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 小金井市中心身障害者福祉手当条例の一部改正について | 厚 | 心身障害者福祉手当の額を増額するもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 小金井市児童育成手当条例の一部改正について | 厚 | 児童育成手当の額を増額するもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 小金井市老人福祉手当条例の一部改正について | 厚 | 老人福祉手当の額を増額するもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 損害賠償の額を定め、和解することについて | 総 | 市庁用車事故による損害を賠償するもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 栗山公園往復バスの運行改善を求める陳情書 | 建 | 栗山公園往復バスの運行を1111便でも半日単位での改善を求めるもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 緑中学校にエレベーターを設置することに関する陳情書 | 厚 | 緑中学校にエレベーターの設置を求めるもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 栗山公園健康運動センターの夏季使用に関する陳情書 | 建 | 中高年健康増進団体に夏季もプールの使用を求めるもの。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 「住宅金融専門会社の不良債権処理に対して公的資金導入に反対する意見書」の提出を求める陳情書 | | | | | | | | | | | | | | | | 審議未了 |

可決・採択(全員賛成)

※表中「付託委員会」欄の文字は次の名称の省略です。

総：総務委員会
 建：建設委員会
 厚：厚生文教委員会
 予：予算特別委員会
 行財：行財政問題調査特別委員会
 可決：市長から提出された議案に対して賛成されたもの
 採択：可決と同趣旨で請願や陳情に対するもの
 (不採択は逆)

※「議決結果」欄の☆印は、討論が行われたものを示す。

請願・陳情の執行・処理結果

議会が採択した請願・陳情を市長等が願意にそって執行・処理した旨の報告がありましたので、その内容を掲載します。

ていきたい。(左写真参照)

▼7陳情第5号
さわらび学童保育所の早期改築を求めた陳情書

後期基本計画(平成8年度)12年度)のなかで、改築についての措置をしいが、非常に厳しい財政状況のなかで実現のために努力をしいきたい。

▼7陳情第24号
野川ぞいの中町一丁目、四丁目、前原町一丁目、二丁目に学習施設、集会施設を設立する要望の陳情書

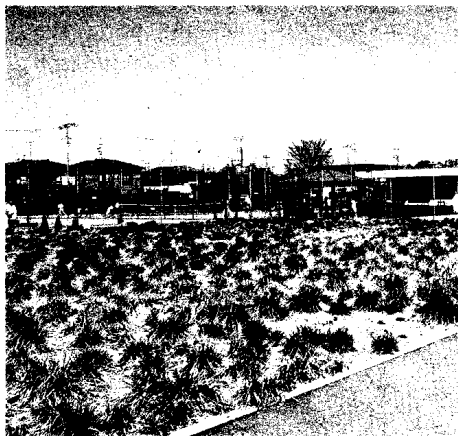
平成8年度予算において建設を行い、平成9年4月開館を予定している。

あなたの声(請願・陳情)が
市政をよくした

▼7陳情第27号
隣地「ネオハイツ武蔵小金井」の建設に伴う市道531号線の拡幅に関する陳情書

▼7陳情第22号
小金井市占有土地に関する有効利用に関する陳情書

市営コート場借地は全体を一区画として借り受けているため、部分的に返還はできない。緑地をより有効活用するため雑草、石等を除去し休憩の場所として、テニスコート利用者や周辺住民の方々に気軽に利用できるような整備を図ってほしい。



整備改善された市営テニスコート場緑地(貫井北町)

なお、7陳情第22号の陳情者より、次の意見がありました。
請願、陳情に対して親切、迅速なる処理とそれの行き届いた連絡に感謝します。
はげの道町会 鈴木 敬

閉会中の委員会日程と引き続き審査する案件

総務委員会

5月15日(水)

- ▶小金井市行政手続条例の制定について
- ▶小金井市役所北町分室移転促進に関し、具体的な見直し及び敷地の見直しを要求する事に関する陳情書
- ▶公共工事における末端の賃金・単価の改善を求めた陳情書
- ▶調布飛行場の不定期航空路線に特別有視界飛行方式を導入することに強く反対し、その趣旨の意見書を東京都に提出することを求める陳情書
- ▶調布飛行場の不定期航空路線に特別有視界飛行方式を導入することに強く反対し、その点に関する協力を求める要望書を三鷹市に提出することを求める陳情書
- ▶調布飛行場の不定期航空路線に特別有視界飛行方式を導入することに強く反対し、その点に関する協力を求める要望書を調布市に提出することを求める陳情書
- ▶調布飛行場の不定期航空路線に特別有視界飛行方式を導入することに強く反対し、その点に関する協力を求める要望書を府中市に提出することを求める陳情書
- ▶行政手続条例(案)に市民参加条項の性格を付与していただくことを求める陳情書
- ▶新たな「食料・農業・農村基本法」の制定を求める決議及び政府への意見書提出に関する陳情書

厚生文教委員会

5月20日(月)

- ▶小金井保健所の存続を働きかけていただく請願書
- ▶難病者福祉の向上をめざす請願書
- ▶知的障害者のための法内施設設置を求めた請願書
- ▶小金井市立小・中学校施設の耐震診断と補強の実施を求めた陳情書
- ▶都立小金井保健所の存続を求めた陳情書
- ▶小金井市の精神保健福祉に関する陳情書
- ▶さくら保育園での延長保育の実施を求めた陳情書
- ▶国民の権利としての公的介護保障拡充を求めた陳情書
- ▶国民の願いに応える公的介護保障の確立を国に要望することを求める陳情書
- ▶脳ドックの利用者に対する助成制度の実施を

求める陳情書

▶保育環境の向上を求めた陳情書

建設委員会

5月23日(木)

- ▶都住宅供給公社小金井貫井団地西側住民の交通利便を確保するための陳情書
- ▶市道路新設計画に関する陳情書
- ▶駐輪場使用料の「学生割引制度」導入に関する陳情書
- ▶東大通り(都道247号)の早期拡幅を求めた陳情書
- ▶玉川上水に災害時の避難路となる人道橋の設置を求めた陳情書

議会運営委員会

5月24日(金)

- ▶小金井市議会議員定数条例の一部を改正する条例

駅周辺整備・中央線立体化問題調査特別委員会

5月27日(月)

- ▶中央線連続立体交差化、南北交通難解消及び駅周辺開発に係る諸問題の調査

ごみ問題対策特別委員会

5月29日(水)

- ▶ごみ減量対策及び終末処理に係る諸問題の調査
- ▶土地収用法に基づく「日の出町第二処分場予定地の事業認定申請」の取下げを処分組合に働きかける陳情書
- ▶日の出町谷戸沢廃棄物広域処分場に関するデータ開示と同処分場の実態調査と抜本的対策を講ずることを求める陳情書

行財政問題調査特別委員会

5月31日(金)

- ▶行財政再建に関する諸問題に係る調査
- ▶職員削減計画の見通しがたつまで欠員の不補充を貫くことを求める陳情書
- ▶地方自治権・「行政改革」に関する陳情書

議会運営委員会

6月3日(月)

- ①次期定例会(臨時会を含む)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査
- ③議会運営に関する議長の諮問事項について

会派変更

平成8年3月4日付で、日本社会党小金井市議団が社会民主党小金井市議団と会派名を変更しました。所属議員は和田好美議員(幹事長)、武井正明議員です。議会議長の略称は社民党となります。

おわびと訂正

議会だより第160号8ページの編集後記中、「作野記」としたのは(佐野記)の誤りでした。おわびして訂正します。

次の市議会定例会は、
6月6日から開催予定です。

編集後記

「政治の評価は歴史によって定まる」と言われます。今、将来を見据えた政策が求められながら、市の命運をかけた17名の職員削減計画は難航しています。次世代に誇れる小金井市を引き継ぐため責任を果たしたい。(稲葉記)

* * *
街中満開の桜の花が、心をなごませてくれます。ところで、政治と国民の距離を考えると、政治は私だけではないか。今号を読まれたみなさんは、いかがでしょうか。(森戸記)